



## 2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年12月28日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東  
 コード番号 7611 URL <http://www.hiday.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 島 需一 TEL 048-644-8030  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日—  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第3四半期の業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	22,747	△27.6	△2,064	—	△2,067	—	△1,920	—
2020年2月期第3四半期	31,421	0.1	3,065	△16.3	3,056	△16.0	1,931	△20.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	△50.56	—
2020年2月期第3四半期	50.85	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	27,333	22,942	83.9
2020年2月期	32,498	26,235	80.7

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 22,942百万円 2020年2月期 26,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2021年2月期	—	18.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年2月期の業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,100	△26.3	△2,100	—	△2,100	—	△1,950	—	△51.33

直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	38,147,116 株	2020年2月期	38,147,116 株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	163,390 株	2020年2月期	160,746 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	37,985,071 株	2020年2月期3Q	37,990,021 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により大幅な落ち込みとなりました。期間後半に入り政府や自治体による各種施策の効果もあり、経済活動は回復の兆しがみられたものの、感染の再拡大に伴い再度の自粛要請がなされるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、4月に発出された緊急事態宣言に伴う外出自粛や時短営業・酒類の提供自粛、イベントの中止等により、過去と比較できないほどの大きな影響を受けました。5月に緊急事態宣言が解除された後も、新しい生活様式に基づく消費習慣の変化でグループでの飲食が敬遠され、感染再拡大の影響により厳しい状況が続いております。

新型コロナウイルスの感染拡大により4月7日に緊急事態宣言が発せられたことを受け、当社は一部店舗について大型連休期間にかけて臨時休業を実施し、それ以外の店舗についても営業時間を短縮し厳重な対策を実施した上で営業を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症対策として、アルコール消毒液の店内設置、従業員のマスク着用、客席への仕切り板設置等の対策を行い、お客様と店舗スタッフの安全を第一に営業を行ってまいります。

このような環境のもとで、当社は首都圏600店舗体制に向けて安定的な新規出店、サービス水準の向上に向けた取り組みや季節メニューの投入などを行い、業容拡大を図ってまいりました。

店舗展開については、10店舗出店(東京都5店舗、埼玉県2店舗、神奈川県1店舗、千葉県2店舗)、退店が15店舗となりましたので、11月末の直営店舗数は437店舗となりました。業態別の店舗数は「日高屋」(来来軒含む)が399店舗、「焼鳥日高」(大衆酒場日高含む)が31店舗、その他業態が7店舗となりました。従来からの駅前立地への出店を進める一方、ロードサイドにも出店を行いました。12月以降も中華そば専門の「神寄」(しんき)、多彩な炒め物メニューを揃える本格中華の「真心」(しんしん)の出店も予定されており、より幅広い層のお客様にご来店いただけるようにしてまいります。

新しい生活様式に基づく消費スタイルの変化に伴うテイクアウト・デリバリーのニーズ増に対応し、事前予約システム対象店舗の増加に努めました。キャッシュレス決済については、各種還元キャンペーンに参加しPR活動を行いました。クレジットカード決済についても順次取扱いを拡大しており、お客様の利便性向上に引き続き取り組んでまいります。

売上高につきましては、既存店売上高前年比は9月80.7%、10月87.0%と回復基調で推移しましたが、11月に入り新型コロナウイルスの感染が再拡大したため、3~11月累計の既存店売上高前年同期比は71.9%となりました。

生産・原価面につきましては、無洗米等の仕入れ見直しによる購入単価の減少もありましたが、売上高の大幅減少により原価率は28.4%(前年同四半期は27.4%)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、SNSおよびTVCMを活用したブランドイメージの周知に努めたことによる広告宣伝費の増加、キャッシュレス決済の取扱額の増加による支払手数料の増加等もあり、売上高比は80.7%(前年同四半期は62.8%)となりました。

また、特別損失として減損損失4億15百万円を計上しました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は227億47百万円(前年同四半期比27.6%減)、営業損失は20億64百万円(前年同四半期営業利益30億65百万円)、経常損失は20億67百万円(前年同四半期経常利益30億56百万円)、四半期純損失は19億20百万円(前年同四半期純利益19億31百万円)となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、273億33百万円となり前期末に比べ51億65百万円減少しました。これは主に現金及び預金の減少によるものです。

負債合計は43億90百万円となり前期末に比べて18億72百万円減少しました。これは主に未払法人税等の減少によるものです。

純資産合計は、229億42百万円となり前期末に比べ32億92百万円減少し、自己資本比率は83.9%(前期末80.7%)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

店舗展開については、来年2月までに6店舗の開店を予定しており通期では、16店舗の開店、退店は23店舗(提出日現在17店舗は退店済み)を見込み、2021年2月末の店舗数は435店(FC店舗は含んでおりません)を予定しております。

業績予想につきましては、「未定」としておりましたが、入手可能な情報や予測等に基づき算定しております。詳細につきましては、2020年12月28日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を御参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	13,752,130	9,005,426
売上預け金	153,893	87,386
売掛金	622,219	632,812
店舗食材	202,868	178,322
原材料及び貯蔵品	52,939	58,767
その他	498,900	1,206,507
流動資産合計	15,282,951	11,169,222
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	12,729,108	12,497,967
減価償却累計額	△6,513,296	△6,652,379
建物(純額)	6,215,812	5,845,587
構築物	136,895	127,661
減価償却累計額	△90,581	△95,514
構築物(純額)	46,314	32,146
機械及び装置	2,515,280	2,560,434
減価償却累計額	△1,881,740	△2,008,050
機械及び装置(純額)	633,540	552,383
車両運搬具	14,546	15,494
減価償却累計額	△12,475	△13,488
車両運搬具(純額)	2,071	2,005
工具、器具及び備品	2,591,820	2,659,514
減価償却累計額	△2,109,953	△2,205,310
工具、器具及び備品(純額)	481,867	454,203
土地	1,807,544	1,807,544
建設仮勘定	—	9,762
有形固定資産合計	9,187,150	8,703,634
無形固定資産	194,512	181,574
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	112,893	67,669
敷金及び保証金	4,663,772	4,493,472
その他	3,076,690	2,737,126
貸倒引当金	△19,889	△19,649
投資その他の資産合計	7,833,466	7,278,619
固定資産合計	17,215,129	16,163,827
資産合計	32,498,081	27,333,050

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	965,924	776,454
未払法人税等	698,698	—
賞与引当金	415,982	221,476
その他	2,906,580	2,243,732
流動負債合計	4,987,186	3,241,662
固定負債		
資産除去債務	806,526	810,393
その他	469,331	338,536
固定負債合計	1,275,858	1,148,930
負債合計	6,263,045	4,390,593
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,684	1,701,684
利益剰余金	23,051,519	19,763,484
自己株式	△150,677	△155,066
株主資本合計	26,227,890	22,935,465
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,145	6,990
評価・換算差額等合計	7,145	6,990
純資産合計	26,235,036	22,942,456
負債純資産合計	32,498,081	27,333,050

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	31,421,406	22,747,589
売上原価	8,615,498	6,465,304
売上総利益	22,805,908	16,282,285
販売費及び一般管理費	19,740,413	18,347,210
営業利益又は営業損失(△)	3,065,495	△2,064,924
営業外収益		
受取利息	992	876
受取配当金	1,550	1,584
受取賃貸料	3,756	3,624
協賛金収入	—	31,000
その他	27,757	26,899
営業外収益合計	34,055	63,985
営業外費用		
固定資産除却損	37,170	58,639
その他	5,959	8,378
営業外費用合計	43,130	67,018
経常利益又は経常損失(△)	3,056,420	△2,067,957
特別利益		
受取補償金	—	50,000
投資有価証券売却益	—	225
特別利益合計	—	50,225
特別損失		
減損損失	119,667	415,447
投資有価証券評価損	28,670	—
特別損失合計	148,338	415,447
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	2,908,081	△2,433,180
法人税等	976,383	△512,622
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,931,697	△1,920,557

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大により2020年4月7日に緊急事態宣言が発せられたことを受け、当社は一部店舗について大型連休期間にかけて臨時休業を実施し、それ以外の店舗についても営業時間を短縮し厳重な対策を実施した上で営業を行ってまいりました。5月25日に全国で緊急事態宣言が解除され、その後は店舗の所在する各自治体の要請等に応じながら酒類の提供や営業時間の調整を実施しております。緊急事態宣言解除後の売上高は緩やかな回復傾向にあったものの、11月より再度感染が広がりを見せており、大きな売上が期待できる年末年始の需要にも影響を及ぼしております。また、営業時間・酒類の提供時間の短縮要請の影響等も続くものと想定しております。

このような状況を踏まえ、新型コロナウイルスの感染拡大が当社の業績に与える影響の仮定については、従来の「年内にかけて需要は回復していく」から、「2022年2月期の上半期にかけて影響が続く」に変更し、当該仮定をもとに会計上の見積り(固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性)を行っております。



## 3. 補足情報

## ①業態別売上高

(単位:千円)

期別	前第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)			当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)			(参考) 2020年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
			%			%			%
日高屋	403	29,783,172	94.8	399	21,449,145	94.3	402	39,813,769	94.3
焼鳥日高	30	1,505,716	4.8	31	1,087,720	4.8	35	2,193,916	5.2
その他業態等	5	132,517	0.4	7	210,723	0.9	6	202,057	0.5
計	438	31,421,406	100.0	437	22,747,589	100.0	443	42,209,743	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

3. 「日高屋」は、「中華そば日高屋」「中華食堂日高屋」「来来軒」を含めております。

4. 「焼鳥日高」は、「焼鳥日高」「大衆酒場日高」を含めております。

5. 「その他業態等」は、「中華一番」「とんかつ日高」「大衆食堂日高」「中華そば神寄」、「中華食堂真心」、「亀よし食堂」、FC向けの売上高等を含めております。

## ②地域別売上高

(単位:千円)

期別	前第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)			当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)			(参考) 2020年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
			%			%			%
東京都	211	16,037,414	51.0	207	11,212,045	49.3	213	21,486,907	50.9
埼玉県	106	7,052,308	22.4	108	5,148,504	22.7	108	9,488,255	22.5
神奈川県	69	4,933,159	15.7	69	3,720,105	16.4	69	6,630,958	15.7
千葉県	48	3,187,949	10.2	49	2,489,503	10.9	49	4,310,195	10.2
茨城県	3	128,347	0.4	3	122,710	0.5	3	184,256	0.4
栃木県	1	82,226	0.3	1	54,721	0.2	1	109,170	0.3
計	438	31,421,406	100.0	437	22,747,589	100.0	443	41,209,743	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

## ③開設店舗及び閉鎖店舗

〔開設店舗〕

- |                   |             |             |                  |                     |
|-------------------|-------------|-------------|------------------|---------------------|
| 1. 松戸西口駅前店        | 2. 三鷹南口中央通店 | 3. 聖蹟桜ヶ丘東口店 | 4. 茅ヶ崎北口店        | 5. 焼鳥日高<br>聖蹟桜ヶ丘東口店 |
| 6. 亀よし食堂<br>町田中央店 | 7. 東川口駅北口店  | 8. 所沢クラッシイ店 | 9. 焼鳥日高<br>亀戸北口店 | 10. 鎌ヶ谷初富店          |

〔閉鎖店舗〕

- |                  |            |                    |                      |                  |
|------------------|------------|--------------------|----------------------|------------------|
| 1. 松戸西口店         | 2. 三鷹南口店   | 3. 東池袋店            | 4. 大衆酒場日高<br>西池袋1丁目店 | 5. 焼鳥日高<br>西八王子店 |
| 6. 焼鳥日高<br>松戸西口店 | 7. オペラシティ店 | 8. 三軒茶屋茶沢通店        | 9. 大森東口店             | 10. 所沢店          |
| 11. 田園調布東口店      | 12. 尾山台店   | 13. 焼鳥日高<br>日暮里駅前店 | 14. 川崎砂子店            | 15. 高田馬場店        |

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。また、三郷店は2020年4月にFC店舗に移行しております。